

扶桑町の現状について

1 扶桑町の概況

(1) 地勢

扶桑町は、愛知県の北西部に位置し、東は犬山市、西は江南市、南は大口町、北は木曾川をへだてて岐阜県各務原市に接しています。土地は概ね平坦で、総面積は 11.19 平方キロメートルとなっています。

(2) 人口

ア 現状

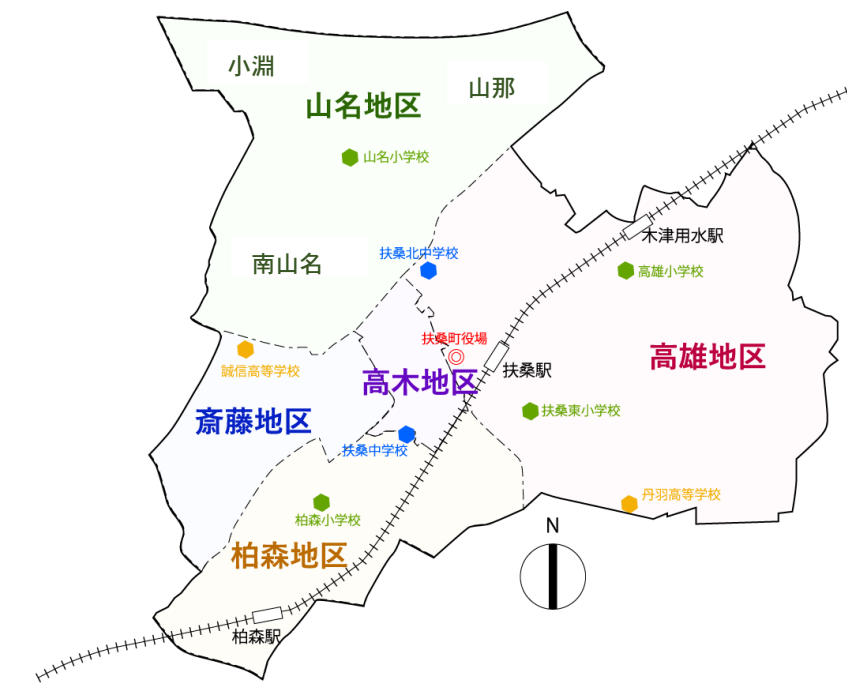
人口と世帯数は町制施行以来おおむね一貫して増加しており、2020（令和 2）年 9 月の人口は 34,878 人、世帯数は 14,381 世帯となっています。

【地区別人口・世帯数】

（単位：人/世帯）

区分	高雄	山名			斎藤	高木	柏森	社宅等	計	
		山那	小淵	南山名						
人口	14,776	4,893	1,110	787	2,996	4,230	2,200	8,613	166	34,878
世帯数	5,936	1,872	396	308	1,168	1,691	994	3,722	166	14,381

【扶桑町の地域区分】

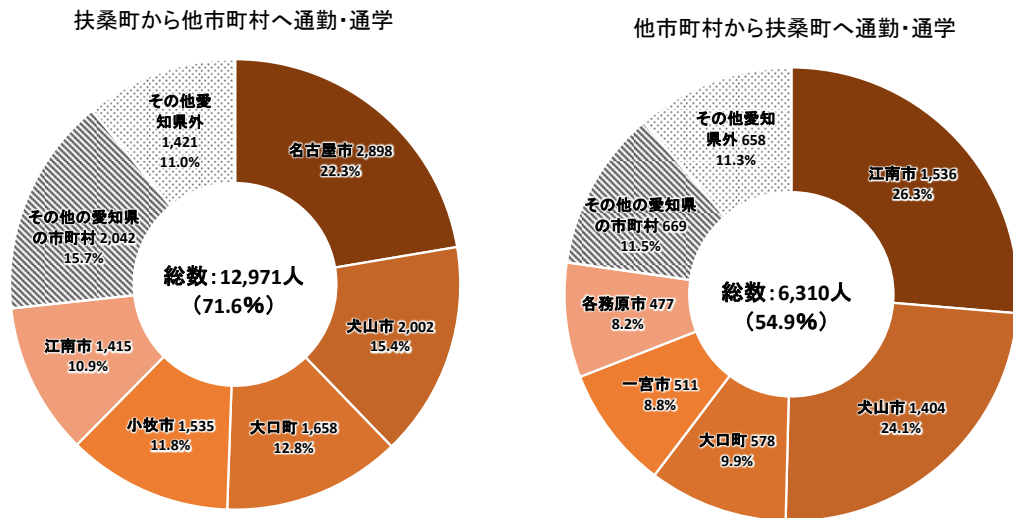


イ 昼夜間人口

国勢調査によると、2015（平成27）年の昼間人口は27,154人、夜間人口は33,806人、昼夜間人口指数は80.3となっています。

扶桑町に住む15歳以上の従業・就学者の約7割にあたる12,971人は他市町村へ通勤・通学しています。内訳をみると名古屋市が最も多いほか、犬山市や大口町といった近隣市町村への通勤・通学も多くなっています。

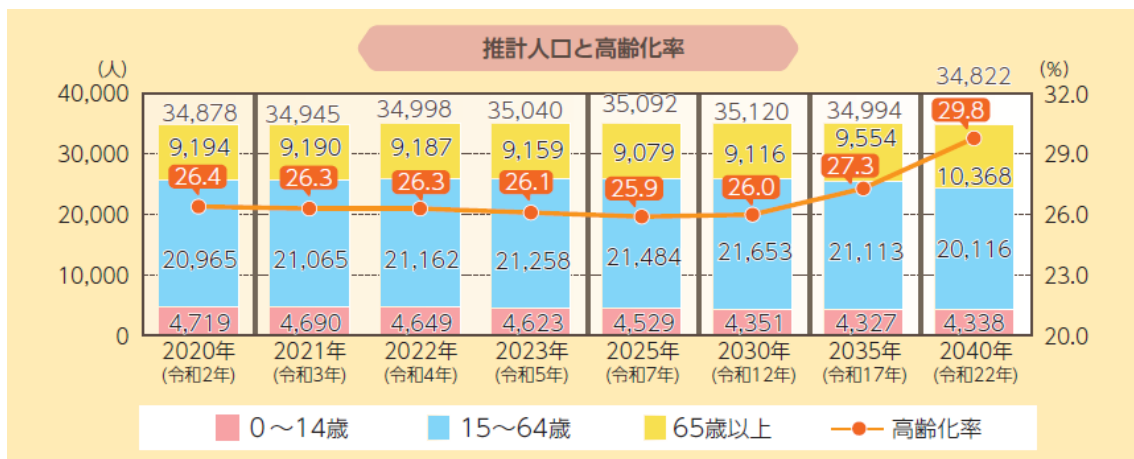
一方で、他市町村から扶桑町への通勤・通学者は、扶桑町で従業・就学する人の約半数にあたる6,310人となっています。内訳をみると江南市や犬山市、大口町といった近隣市町村が多くなっているほか、各務原市など岐阜県の市町村からの通勤・通学者もみられます。



（第5次扶桑町総合計画）

ウ 推計

団塊の世代が75歳以上の後期高齢者となる2025（令和7）年までは65歳以上の高齢者人口は微減するものの、高齢化率はほぼ同率で推移する見込みとなっています。一方、2040（令和22）年には、高齢者人口は10,000人を超え、高齢化率も29.8%に達することが予想されています。



（扶桑町第8期高齢者保健福祉総合計画）

2 扶桑町の公共交通

(1) 現状

扶桑町は、名古屋市から北に約 20km の距離にあり、名鉄扶桑駅から名古屋駅まで約 30 分、扶桑町役場から名古屋高速 11 号小牧線を経由して名古屋市都心部まで約 30 分でアクセスが可能となっています。

公共交通では、名鉄犬山線が尾北地域や隣接する可児市・各務原市方面と名古屋方面を結ぶ公共交通機関として、町の中心を通っています。町内には、3つの駅が設置されており、柏森駅は特急以下、扶桑駅は急行以下、木津用水駅は準急以下が停車する駅となっています。また、名古屋市営地下鉄鶴舞線との相互乗り入れや中部国際空港への直通列車の設定により、県内他地域へのアクセス性が向上しています。

バス路線については、過去に一宮・犬山線、浄心線、小渕・江南線の3つの路線を名鉄バスが運行していましたが、利用者の減少を受けて廃線となり、1998（平成 10）年には、扶桑町内を運行する路線バスがなくなりました。

なお、2009（平成 21）年に、イオン扶桑ショッピングセンターと扶桑駅、柏森駅を結ぶ路線を名鉄バスが開設しましたが、2010（平成 22）年に廃止となっています。

タクシーについては、犬山タクシー、名鉄タクシーが多く利用されています。

(2) 町の施策

ア タクシー料金助成制度

80 歳以上及び 40 歳以上で要介護又は要支援認定を受けている方^①、障害者手帳の交付を受けている方^②を対象に、タクシー料金のうち基本料金に相当する額を助成しています。年間 36 回を限度としますが、80 歳以上の要介護認定者等は 24 回分の追加利用ができます。ただし、自動車税又は、軽自動車税の減免を受けた方は 24 回を限度としています。

【タクシー料金助成費（扶助費）】

（単位：千円）

区分		当初予算額	決算額	備考
令和元年度	①	16,607	15,843	交付者数 2,382 人 年間利用回数 26,529 回
	②	4,217	2,643	交付者数 621 人 年間利用回数 4,732 回
令和2年度	①	15,934	—	交付者数 2,409 人 年間利用回数 21,372 回
	②	3,805	—	交付者数 616 人 年間利用回数 3,955 回
令和3年度	①	16,373	—	
	②	3,215	—	

イ 福祉有償運送

福祉有償運送制度を広く周知し、外出支援をしています。また、福祉有償運送運営協議会として、既存の交通機関とバランスをとりながら新たに活動を行おうとする団体を支援し、移動手段の確保に努めています。なお、2団体が自家用有償旅客輸送者として登録されています。

ウ 福祉バス

総合福祉センターの利用促進を図るため、2000（平成12）年度から町内を巡回する福祉バスの運行を開始しましたが、利用者の減少を受けて、2002（平成14）年度をもって廃止しています。